別紙２

メディアを利用して行う同時双方向型の遠隔授業の実施について

鳥取県立鳥取西高等学校

不登校生徒

本人の学習意欲の確認

○随時、本人・保護者からの相談に応じ「症状が改善したら教室に戻り学校で学びたい」という本人の学習意欲を確認します。

メディアを利用した授業実施の提案

○校内体制を確認・整理し、不登校の状況を踏まえ、メディアを利用した授業を実施する教科・科目の実施方法等を検討し、実施可能な支援の方法を伝えます。

メディアを利用した授業の受講を希望する場合（遠隔授業受講願を提出）

○本人・保護者とメディアを利用した授業の実施方法・出席の取扱い、評価方法、単位認定等についての合意形成を行います。
○受講する場所の決定と通信環境の確認をします。

メディアを利用した授業の実施・指導の工夫と学習評価

○不登校生徒に対する心理的安全性を高める環境整備を行ったうえで授業を実施します。
○画面を通じて、あるいは端末の画面共有機能や共同編集機能、チャットツール等を通じて生徒の学習状況を把握することにより、出席扱いとします。
○課題提出等により学習評価を行います。

教室復帰に向けた継続した支援

○定期的に家庭への訪問や面談等を行い、教室復帰の希望、メディアを利用した授業の継続希望、学習継続の意思、進路希望等、本人・保護者の意向を確認します。
○支援内容について本人・保護者と合意形成を行います。

病気療養中等の生徒

本人・保護者からの病気療養の申請

○症状等（診断名、症状、治療期間、欠席期間等）の確認をします。
○必要に応じて、保護者の了解を得て医療機関と相談します。

メディアを利用した授業実施の提案

○校内体制を確認・整理し、メディアを利用した授業を実施する教科・科目の実施方法等を検討し、実施可能な支援の方法を伝えます。

医療機関の見解・通信環境の確認

○本人・保護者を通して医療機関に実施可否を確認します。（健康上の問題・通信環境）

メディアを利用した授業の受講を希望する場合（遠隔授業受講願を提出）

○本人・保護者とメディアを利用した授業の実施方法・出席の取扱い、評価方法、単位認定等についての合意形成を行います。
○通信環境の確認をします。
○体調によっては、オンデマンド型の授業も検討します。

メディアを利用した授業の実施・指導の工夫と学習評価

○病状や治療の状況を踏まえ、生徒の体調管理や緊急時に適切な対応を行うことができる体制を整えます。
○画面を通じて、あるいは端末の画面共有機能や共同編集機能、チャットツール等を通じて生徒の学習状況を把握することにより、出席扱いとします。
○定期的な訪問やオンラインでの面談、メールでのやり取り等を通して、動画の視聴及び学習状況を可能な限り把握し、課題提出等により学習評価を行います。

退院、療養後の学校復帰に向けて

○学校復帰した際の支援内容について本人・保護者と合意形成を行います。